

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	日本電波工業株式会社	事業所名	狭山事業所				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	ISO14001を取得している企業に委託している。 輸送会議時に各協力会社の取り組みを説明して頂き確認している。			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ()	本社より毎月稼働9日目に全営業所分のデータが送付される。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	積み合せ時に出来るだけ形状を揃え積み付けを実施している。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	各部門において梱包状況に合わせた適正梱包材を使用している。			○	○	○
04	積載率の向上 ----- (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	配送量に応じてトラックを手配している。			○	○	○
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- (01) 混載便利用の取組	積載効率を優先し混載便を実施している。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	定期輸送会議において各社の取り組み状況説明時に確認している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	定時定ルートによる配送を委託先に行わせている。 配車一覧表にてコース別に設定している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	出来るだけ混載にて対応している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	交通事情による輸送ルートの見直しを委託先に行わせている。	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	製造した商品の運搬・保管を外部(アルプス物流社)に委託して配送している。 本項目以外の回答はアルプス物流社の実施内容である。	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	各配送コース設定時に実施している。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	定期的な輸送会議を実施し情報の共有化を実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	原則路上駐車で納品は発生していない。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	運送日報にタコメータからの運転状況がデータで点数化され、ドライバーへの教育(エコ運転等)に活用している。	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	日本電波工業株式会社	事業所名	狭山事業所	H30	H31	H32	
取組措置		具体的取組措置					
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行		出勤時3便、退勤時2便の送迎バスを会社稼働日に運行している。			○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (03) 公共交通機関利用者への優遇策		車両通勤から電車・バス・自転車・徒歩通勤に変更した社員に社内ポイントを付与する。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進		年に1回、自転車利用者向けの講習会を開催している。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理		年に1回、放置自転車の撤去等を行い、駐輪場を維持管理している。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進	車両通勤から電車・バス・自転車・徒歩通勤に変更した社員に社内ポイントを付与する。	○	○	○
(04) 自転車通勤者への優遇策				
07 エコドライブの推進	①年1回、交通安全講習会時に安全運転管理者(エコドライブアドバイザー講習修了者)がエコドライブの推進をしている。	○	○	○
(01) エコドライブの啓発	②エコドライブキャンペーン活動に参加して成果を出した社員に社内ポイントを付与する。			
08 低燃費車の利用促進	通勤用車両として「九都県市指定低公害車」を利用している社員に社内ポイントを付与する。	○	○	○
(02) 低燃費車利用者への優遇策				
09 その他の必要な取組	構内及び駐車場にアイドリングストップの看板を掲示している。	○	○	○
(01)				